

課題名：経カテーテル大動脈弁留置術（TAVI）の術中低血圧と予後に関する検討

◆研究の目的と概要◆

当院では、経カテーテル大動脈弁留置術（TAVI）の術中低血圧について調べています。
術中の最適化された循環管理・周術期管理を目指し、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2022年8月から、2024年8月までの間に大動脈弁狭窄症の診断で経カテーテル大動脈弁留置術（TAVI）を目的とした麻酔記録に情報が登録されている患者さんが対象となっています。

◆研究に使用される情報◆

年齢、性別、身長、体重、BMI、ASA PS、心不全の既往（入院歴、投薬、コントロール）、NYHA分類、糖尿病合併（投薬、コントロール）、高血圧（投薬、コントロール）、術前の臨床フレイルスコア、脂質異常症、認知症の合併、脳梗塞既往（症状、投薬）、冠動脈狭窄の有無・部位、心筋梗塞既往、肝臓疾患既往、喫煙歴（ブリンクマン係数）、肺疾患既往、呼吸機能、胸部レントゲン異常所見、eGFR値、心電図異常所見、心エコー所見（EF、Dd/Ds、AVA、Ao peak velocity、meanPG、MR、TRの有無/程度）、術前血液検査異常値、術前CTでの大動脈石灰化の程度、手術時間、手術室在室時間、麻酔時間、輸血量、輸液量、使用麻酔薬、出血量、留置デバイス（Sapient、Evolute、Navitor）、術中低血圧の頻度/累積時間
術後因子：HCU在室期間、入院期間、ペースメーカー留置の有無、術後レントゲン、術後腎機能、HCUでの心拍出量/1回拍出量、血圧の推移、心筋梗塞、術後の検査値異常、せん妄の有無、術後30日死亡率、術後1年死亡率、術後2年死亡率

◆情報の研究利用開始日◆

2023年10月1日以降

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録（カルテ・麻酔記録）等からの情報を利用します。

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

麻酔科 研究責任者 吉岡俊樹

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）

（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- ・ 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法
（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- ・ 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- ・ 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- ・ 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明